

人事委員会議事録（第1687回）

1 開催日時

令和4年6月27日（月）15：00～16：00

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員	田中基康	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	古川卓哉	事務局長
	西谷智子	任用課長
	井上博尊	給与課長
	中原恵子	任用課副課長兼給与課副課長

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1686回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

行政A（大卒程度）採用試験筆記試験合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（6月28日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

受験率はどうだったのか。

（事務局）

全体の受験率は、令和3年度が69.5%だったのに対し、令和4年度は62.8%だった。技術職は、令和3年度が67.7%、令和4年度が57.7%と10ポイント下がっているが、特別枠採用試験の最終合格者が欠席したことが要因と考えている。事務系職種は69.9%から64.4%と5.5ポイント低下した。

（委員）

コロナ禍で行動が制限されており、面接でアピールできる項目が少ない中で、面接による選別が難しい側面がある。筆記の比重を高くしたり、面接での評価ポイントを明確化するなど、基準を明確にしてあげれば、安心感が高まり受験者が増えるのではないかと。

(事務局)

面接員の意見も踏まえながら試行錯誤しながら改善していく。

(委員)

話の引き出しが多いことも大事だが、本気で語るができるものをいかに自分の言葉で話せるかが重要だと感じる。

総合土木職などは全員が合格となっているが、特別枠採用試験との重複申込者が欠席した影響が大きい。特別枠採用試験ではよい人材が確保できたように思うので、来年度以降の両試験の実施内容等について考える必要がある。

第3号議案

獣医師採用選考試験最終合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（6月28日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員)

辞退率が非常に高いが、他に流れてしまう原因は何なのか。兵庫県が特に嫌われているということではないのか。

(事務局)

全国に試験会場を設けており、兵庫県出身者以外の者も受験している。もともと公務員志望の獣医師が少ない上に全国の自治体で取り合いの状況となっている。独立を目指す者もいるし、公務員志望者であれば、給与や異動エリアなど勤務条件を比較していると思われる。兵庫県と地元自治体とで迷う者も多く、業務内容に差があるわけではない。

(事務局)

兵庫県は、但馬牛や神戸ビーフなど、特に農林獣医師希望者にとっては魅力的だと聞いている。給与面では、令和2年度から初任給調整手当制度を創設している。

(委員)

待遇面だけでなく、獣医師職を大事にしているというアピールが重要である。

(委員)

辞退理由は何なのか。実際のところ何がポイントになっているのか見極める必要がある。

(事務局)

昨年度の辞退理由としては、他府県や国、民間企業への就職が主であった。

第4号議案

採用選考並びに職務の級及び号給決定の件

給与課長が、各任命権者から請求のあった採用選考（発令予定令和4年7月1日）並びに職務の級及び号給について説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

(委員)

国との人事交流では、住宅などは措置されているのか。

(事務局)

住宅については県の規程に基づいて住居手当が支給される。

(委員)

フェニックスセンターに派遣された職員は県の公舎に入居できたと思う。個人で住宅を手配した場合は手当になる。

(委員)

給与は国を基準に決まってしまうが、住宅など給与以外の部分で措置することで、戻るときに兵庫に良い印象をもってもらえるようなことができればいいが。

(事務局)

手当だと上限28,000円なので、手当だけで住居を確保するには厳しい。

閉 会